

図書館だより



所沢図書館新所沢分館 図書館だより 読むトコ 第9巻4号 2021.2 発行

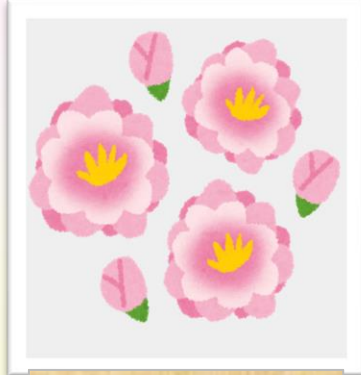
読むトコ

2021.2

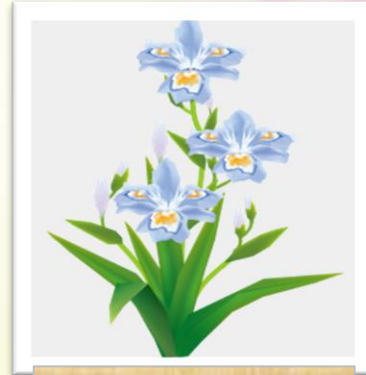
「月ごとの花々」



2月の花 ミスミソウ
花言葉 忍耐強さ



3月の花 モモ
花言葉 天下無敵



4月 シャガ
花言葉 強い決意

出典
『誕生日の花図鑑』
中居恵子/著
清水晶子/監修

2月も寒い日が続きますが、暖かい日も少しずつ増えて、春の訪れを感じるようになってきました。季節の変わり目になりますので、体調を崩さないように予防を心掛けましょう。

2月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	1	2	3	4	5	6

3月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
28	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

4月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

図書整理期間のお知らせ

年に一度の図書整理期間(2月22日～26日)では館内の本を全て点検します。この期間は全職員で本を一冊ずつ正しい場所に置かれているか、行方不明や迷子になっていないか、壊れていないか等を点検します。期間中は皆様にご迷惑をお掛け致しました。ご協力ありがとうございました。

※赤い丸は 祝日開館となります。



※3月20日(土)は 大人のつどい開催のため 休館となります。

- 一般イベント日
- 児童イベント日
- 親子おはなし会
- おはなし会

新所沢分館開館時間

火曜から金曜 9:30～21:00
(緊急事態宣言中は20:00)
土・日・祝日 9:30～17:00
休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日

☆新所沢図書館からのお知らせ☆

緊急事態宣言の発令に伴い、新所沢分館の火曜日から金曜日の開館時間が9:30～20:00まで短縮になっております。来館の際にはマスクの着用をお願いしております。図書館内の滞在の時間は1時間以内となっておりますので、ご協力お願いいたします。また、現在図書館のイベントは中止になっております。詳しくはHP等をご確認ください。

図書館だより 読むトコ 第9巻4号
所沢市立所沢図書館 新所沢分館
発行日：2021年2月
〒359-1111所沢市緑町1-8-3
☎04-2929-1905
指定管理者 株式会社ヴィアックス

図書館まつり報告

十一月十三日から十一月十五日の三日間に新所沢分館の図書館まつりを開催しました。大人向けのイベントとして、「本の福袋」と「ブックリサイクル」を行いました。

「本の福袋」は、「おいしい本」「ドキドキワクワクする本」「フムフムナルホドな本」「ほっこりする本」の4つのテーマの福袋を用意しました。中身が分からないワクワク感を楽しんでいただけただけです。「ブックリサイクル」は雑誌を中心に持ち帰りになる方が多くいました。ありがとうございました。



本の除菌機を設置しました

カウンター横に本の除菌機を設置しました。一度に十冊まで除菌できますので、借りた本を除菌してみたい方が多いでしょう。使い方は簡単です。本を掛けるように入れてボタンを押すだけです。カバーだけでは不十分です。カバーだけでなく、中までしっかり除菌してください。ぜひ使ってみてください。



図書館員の本棚 東日本大震災十年の節目

『家族写真』

笠井千晶 著
小学館

震災から7年間、毎週のように南相馬を訪れ、映像を撮り続けた著者。被害にあった家族に密着し対話した記録をまとめている。

請求記号
369.31/カ

『東日本大震災あの時の図書館員たち』

日本図書館協会「東日本大震災あの時の図書館員たち」編集委員会 編
日本図書館協会

震災から9年、東北の図書館員たちが当時、何を見て、何をしたのかの体験記とこれからの図書館の在り方を綴った一冊。

請求記号
010.212/ヒ

『After the TSUNAMI 東日本大震災』

江成常夫 著
冬青社

瓦礫の山や防波堤、慰霊碑などを覆いたくなくなるような現場を7年間撮影し続けた。福島、岩手、宮城の真実を収めた写真集。

請求記号
H/748/エ

『絆』

島田明宏 著
集英社

福島県南相馬で競走馬生産牧場を営んでいた拓馬は東日本大震災の津波ですべてを失ってしまふ。唯一残された仔馬に希望を託し、再び「相馬野馬追」を開催する夢を追いかける。20年以上にわたって競馬関連の原稿を執筆していた著者が書き上げた馬と人の絆の物語。

請求記号
B/913.6/シ

季節に触れる

二月《春一番》

立春から春分までの間で、その年の最初に吹いた強い南風を春一番と呼びます。この風が吹けば「春はもうすぐそこ」と感じる人も多いのではないのでしょうか。

この春一番、全国で観測されるものかと思いきや、春分に入っても寒さが残る北海道や東北と、立春前から南風が吹く沖縄、盆地の長野と山梨では吹くことがない風だそうです。

『まいにち暦生活』

暦生活/協力 高月美樹/監修
ナツメ社 2020年
386.1/マ

三月《朧月》

春の夜空に浮かぶ、ほのかにかすんだ月を「朧月」といいます。春になって気温が上がると大気中の水分が増え、万物がぼんやりとかすんだように見えるのです。この現象を昼は「霞」、夜は「朧」と呼びます。

(中略)

童謡「朧月夜」では、森の色、蛙の鳴く音、鐘の音などを「さながら霞める朧月夜」と歌われています。

『季節のことば』

現代用語の基礎知識/編集部/編
田村理恵/執筆 他 自由国民社
2015年 911・307/キ

四月《エイプリルフール》

日本では「四月馬鹿」といって、罪のないウソをついてもいいとされる日。その昔、ヨーロッパでは3月25日を新年とし、4月1日まで春の祭りを開催していたが、1564年にフランスのシャルル9世が1月1日を新年とする暦の採用に踏み切った。これに反発した人々が、4月1日を「ウソの新年」として馬鹿騒ぎをするようになったのが、エイプリルフールの始まりとされる。

『今日は何の日』

PHP研究所/編 PHP研究所
2006年 204/キ